

新しい高知大学

共通教育主管 奥田一雄

太平洋高気圧の威力が例年ほど勝れず、今年は遅い梅雨明けとなりました。それでも、クマゼミはその時期を逃さないで早朝から精一杯生を謳歌し、午後には、その喧騒をアブラゼミが引き継ぎました。よさこい 50 周年燃える土佐、みなさんも青春・夏を存分に楽しまれたことでしょう。

この 2 学期が始まる時が、ちょうど、新しい高知大学の出発となります。新しい高知大学は、人文、教育、理、医、農の 5 学部を擁し、新しい学章と学歌を携えて名実ともに新しい高知大学として船出します。

新しい高知大学のカリキュラムは、實際上、平成 16 年度入学生からスタートしますので、在来生のみなさんにとっては、卒業までのカリキュラムに大きな変更はありません。しかし、来年度から開講される共通教育の科目は、朝倉、物部、岡豊のどのキャンパスからでも受講が可能となり、今までよりも幅の広い学問分野から授業科目を選択できるようになります。

共通教育の科目区分は 3 つあり、それぞれ、基軸科目、教養科目、基礎科目となります。基軸科目は主に 1 年生を対象とし、大学で自ら学ぶために基本となる心構え、基礎知識、スキルなどを修得する授業が配置されます。教養科目は、自らの専攻を越えて幅広い学術分野に触れ、現代的な課題にも目を向ける多様な授業を含んでいます。外国語科目とスポーツ科学はここに入ります。教養科目のそれぞれの授業を、6 つの系と 10 のテーマで 2 次元的に展開した授業地図に配置しますので、個々の学生は、自らの関心に応じ、かつ、特定の領域に偏らないように授業を選択することができます。基礎科目には、学問体系を構成する基本的な考え方を理解し、自らの専攻に関連する専門の基礎となるのと同時に、他分野の学生にとっては高度の教養教育となる授業を集約しています。

農学部の1年生は従来どおり朝倉キャンパスで授業を受け、2年生から物部キャンパスへ移ります。医学部の学生は基本的に岡豊キャンパスで授業を受けますが、看護学科の1年生と2年生は週に1日または2日朝倉キャンパスへ移動して授業を受けます。共通教育は全学開放なので、全ての学生はキャンパスを移動して自分の好きな授業を受講できます。基軸科目の「健康」は、新たに看護学科の先生が加わって充実したオムニバス形式で進められ、さらに、教養科目では、医学科の先生による新規の授業開設も計画されています。多様なバックグラウンドをもつ学生が共通の授業を受講し、また、サークル活動などでの出会いを通して学生同士の交流がますます活発になるでしょう。

平成16年度から、新しい高知大学は、国立大学法人高知大学となります。何が変わるのでしょうか。国立大学法人高知大学は国の直轄から離れて独立した運営組織になり、教育研究の方針や実施に関するすべての責任を自ら果たすこととなります。国は、国立大学法人高知大学が作る教育研究や社会貢献などに関する中期目標・計画に基づき、交付金と補助金を出します。6年後、国は、国立大学法人高知大学が中期目標・計画を達成したかどうかを評価します。たとえば、6年間で質の高い教育がなされ、学生の満足度や到達度などの点で教育の効果が上がっているという結果が出れば、国は交付金を維持します。結果が出ない場合は、逆に交付金は減額されます。

教育の効果を測るものさしはどのようなもののでしょうか。大学は学生が自ら学ぶところです。自分がどれだけ多くを学び、経験し、知識や能力、感性、世界観などにおいて自分自身を高めることができたかということを、学生自身が実感する程度と水準が、そのものさしの1つになると思います。学生がこの大学で学んで本当に良かったと実感してくれるかどうか、また、そう実感できる教育と学生生活・環境を作っていくかどうか、新しい高知大学の帰趨を決める重要な鍵となるでしょう。